安 全 の 誓 い

宮城県内における労働災害発生状況から見ると、全産業に対する建設業の死亡災害割合は、毎年高い発生率を占めています。

このような現状の中で、仙台建設業協会としては、労働災害を少しでも減らすため、協会の安全大会、仙台労働基準監督署との労働災害防止連絡協議会の定期会議を始め、安全パトロールの強化、安全研修会・講習会を実施することにより、徹底した安全対策に努力しております。

　本年７月末現在の、仙台労働基準監督署管内における建設業労働災害発生状況は、７９件と前年同期と同数となっているところであります。

　全国労働衛生週間のスローガン「目指そうよ二刀流　こころとからだの健康職場」並びに、全国建設業労働災害防止大会スローガンである「仲間を思いやる一声　みんなで実現しよう安全な職場」を達成すべく、邁進いたします。

　また、本日の安全大会を契機に、労働災害防止の基本に立ち返り、三大災害である

①墜落・転落災害　②建設機械・クレーン等災害　③崩壊・倒壊災害

の防止に加えて、交通災害の防止にも力を入れてまいります。

　さらに労働災害を減らさなければ、建設産業界の担い手の確保がいま以上に厳しくなります。担い手確保の前提として、仙台建設業協会会員全員が「事故の無い現場が当たり前」とする努力を惜しまず、心身ともに健康で、誰もが安心して働くことができる快適な職場づくりと、「労働災害ゼロ」を目指すことをここに誓います。

　　　　　　　　　　　　　　令和５年１０月４日

一般社団法人　仙台建設業協会